

工場塗装・現地塗装

種類	工場塗装			現地塗装 (参考)		
	1次塗装	2次塗装	3次塗装	用途	現地塗装適合塗料	備考
AA	亜鉛溶射 又は ジンクリッチペイント ⁽¹⁾	管に通常用いる塗料 塗膜の厚さ 0.08mm	—	主として 露出配管 に用いる。	管に通常用いる塗料	黒色とし、その他の色は指定できない。
BB		現地塗装のアクリルNAD系艶有塗料に適した管に通常用いる塗料 塗膜の厚さ 0.08mm			アクリルNAD系艶有塗料	色の指定ができ、歩道橋や建築関係で通常用いられている。塗料は市販性がよく、入手しやすい。
CC		エポキシ樹脂塗料 塗膜の厚さ 0.05mm	エポキシM.I.O.塗料 塗膜の厚さ 0.05mm		ポリウレタン樹脂塗料	色の指定ができ、耐候性が要求される場合に使用される。
DD					エポキシ樹脂塗料	色の指定ができ、水中や湿度の高い腐食性環境で使用される。

注⁽¹⁾ 1次塗装の塗布量は、亜鉛溶射の場合 130g/m²、ジンクリッチペイントの場合 150g/m²を基準とし、塗膜厚さは0.02mmとして積算します。

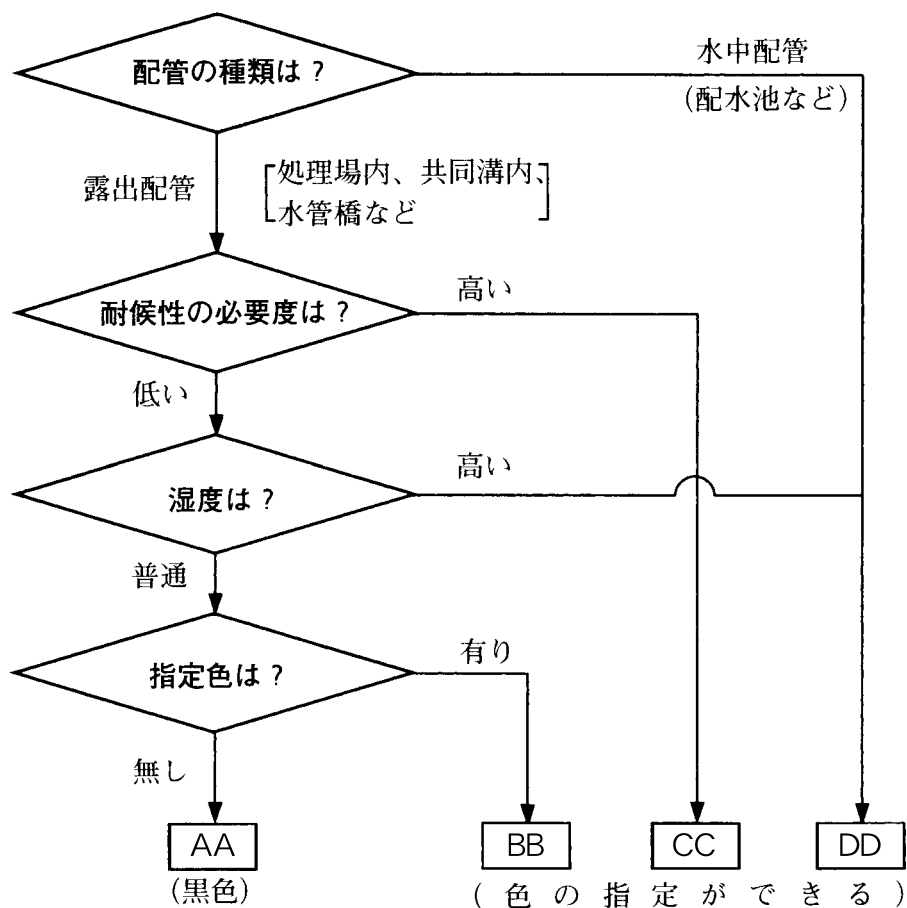
塗装の種類の特徴

種類	特徴
AA	この塗装は、黒色で、比較的湿度の低い環境の露出配管に適している。
BB	この塗装は、色の指定が可能で、比較的湿度の低い環境の露出配管に適している。 なお、現地塗装のアクリルNAD系艶有塗料は、一般建築用として汎用性があり、多彩な色の指定が可能である。
CC	この塗装は、色の指定が可能で、現地塗装には耐候性に優れたポリウレタン樹脂塗料を用いるため、露出配管に適している。 なお、3次塗装として、現地塗装との密着性を良くするためにエポキシM.I.O. (Micaceous Iron Oxide 雲母状酸化鉄顔料) 塗装を行っている。
DD	この塗装は、色の指定が可能で、水中配管に適している。 なお、現地塗装のエポキシ樹脂塗料は、ポリウレタン樹脂塗料よりも耐候性に劣るため、湿度の高い所の露出配管に用いると光沢が低下する。 種類CCと同様に3次塗装として、エポキシM.I.O. 塗装を行っている。

備考 種類CC及びDDの3次塗装のエポキシM.I.O.塗料は、現地塗装を工場塗装する場合など適正な塗装間隔であれば塗装する必要がありません。この場合、エポキシM.I.O.塗料の塗膜厚さに相当する2次塗装を更に行います。

エポキシ樹脂塗料はJCPA Z 2010に適合するものとします。

なお、塗膜が水道水と接触する場合には、JWW K 135に適合する塗料を用います。



現地塗装の種類及び塗膜厚さ

種類	1次塗装	2次塗装
AA	管に通常用いる塗料 塗膜厚さ 0.015mm 以上	—
BB	アクリルNAD系艶有塗料 塗膜厚さ 0.015mm 以上	アクリルNAD系艶有塗料 塗膜厚さ 0.015mm 以上
CC	ポリウレタン樹脂塗料 塗膜厚さ 0.02mm 以上	ポリウレタン樹脂塗料 塗膜厚さ 0.02mm 以上
DD	エポキシ樹脂塗料 塗膜厚さ 0.02mm 以上	エポキシ樹脂塗料 塗膜厚さ 0.02mm 以上

- 備考1. 塗料の種類によっては、所定の合計塗膜厚さを1次塗装で塗装できる場合は、1次塗装のみでもよいです。
2. 配管工事などで塗膜が損傷することが予想される場合は、工事完了後に塗装することを考慮すべきです。